

令和7年度 東京都立日本橋高等学校 学校経営計画

1 目指す学校

(1) スクールミッション

自主性と責任を重んじ、人権を尊重し、社会の福祉に貢献する生徒を育成します。外部機関との連携等により、よりよい生き方を主体的に選択し行動する力を身に付け、社会の一員として共に生きる態度・能力を備えた生徒を育成します。

(2) アドミッション・ポリシー

以下のような生徒の入学を求める。

- ① 学力の向上を目指し、地道に努力を重ねることができる生徒
- ② 学校行事・ホームルーム活動・委員会・部活動などに積極的に参加し、豊かな人間関係を築くことができる生徒
- ③ 規範意識をもち、自らの判断で行動し、社会的信頼を得られる生徒
- ④ ボランティアや福祉に関心をもち、主体的に地域社会に役立とうとする意欲をもつ生徒

(3) グラデュエーション・ポリシー

卒業時には以下のような資質・能力を身に付け、知見を広げた生徒を育成する。

- ① 高校生にふさわしい知識・技能が身に付き、基礎学力が充実している生徒
- ② 思考力・判断力・表現力といった深く考え意思決定する力が身に付き、探究のプロセスを進めることができる生徒
- ③ コミュニケーション力、目標に挑みやり抜く力、自律性・社会性といった人間力が向上し、社会貢献やマネジメントの体験を重ねている生徒

(4) カリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシーの達成のために、以下の方針で教育課程を編成し、教育活動を実施する。

- ① 教育効果の高い授業の実施と資格検定取得の奨励
- ② キャリア教育の実効化と課題解決型探究教育の推進
- ③ 特別活動・課外活動の充実と地域連携教育の実施

2 中期的目標とその達成に向けた方策	3 当該年度における取組目標とその達成に向けた具体的方策		
	取組目標 ○重点目標	実施する方策	主な評価指標 ★学校評価項目
（１）学校経営・組織体制 ①学校経営 組織としてコンプライアンスの意識を高め、教職員がチームとなって業務を遂行する。主幹教諭、企画調整会議を中心に学校を運営し、魅力ある学校づくりを推進する。	・スクールポリシーが浸透している。 ・個々のコンプライアンスが特色化改革改善改良工夫を推進する「学校改革レベル」になる。 ・それぞれの分掌・学年業務が他の分掌・学年に好影響を与える。 ・学校全体が互いに協力し向上するチームになる。	定量的な学校経営計画の策定と学校評価の向上。 学期ごとの分掌の実績と課題のまとめの実施。 主幹教諭、企画調整会議による提案や自己申告制度の活用。 エンジョイススポーツプロジェクト、Tokyo-IBL ハイスクール、海外学校間交流推進校の取組を実施する。	スクールポリシー理解 70%★ 協力している 90%★ 教員のコンプライアンスレベル 9 以上
	②人材育成、授業力向上、研修、ライフ・ワーク・バランス 教職員全体の仕事力を高める。特に授業力の育成に努める。働き方改革を推進し、教職員が生徒のロールモデルとなる。	校内研修の定例化。 OJT・オンザフライミーティングの奨励。 授業観察・相互授業参観の実施。 先進校視察の実施、国・都・民間の研修参加の促進。 「東京グローバル人材育成指針」に基づいたグローバル人材の育成。 年休取得日数・勤務時間制限目標の設置。 イクボス宣言の実施。 学校業務支援員の活用。	定例研修会 10 回 相互参観全教員 月 45 時間超勤務時間外在校者延べ人数 120 名
	③施設・設備の整備 校内の施設・設備を効果的・効率的かつ安全に稼働させるため、継続的に管理・修理・維持する。図書館は情報活用を中心とする。	・学びやすい環境が作られている。 ・安心・安全が確保されている。 ・図書館の利用頻度が高い。	整備されている 90%★ 図書館利用者数 1 日当たり 50 人
	④経営企画事務マネジメント、自律経営推進予算 学校の窓口として、都民感覚と経営感覚を重視して経営企画事務を遂行する。	・事務業務が滞りなくマネジメントされている。 ・前年度の課題を克服する工夫がある。	庶務、経理、施設、給与、学事業務の適正実施。 自律経営推進予算編成作業の効率化、予算の効果的な編成。
（２）募集・広報（地域交流等）			
①地域との連携 広く本校の使命を理解してもらい、地域の支持を受ける。学校運営連絡協議会から協力的で有益な助言を得る。同窓会・卒業生と効果的に連携する。	・地域の方の評価が高い。	学校運営連絡協議会、学校評価委員会、防災教育推進委員会における意見交換。 授業公開の実施。 地域への情報配信。 入学式卒業式の円滑実施。	情報発信 80%★ 地域貢献 80%★
	②募集・広報 WebページやSNSを活用した広報活動を行う。生徒や保護者・地域を巻き込み、募集広報活動を工夫して行い、毎年の応募倍率を1.3倍超とする。	○説明会来場者が増加し入選倍率を確保する。 ・入学希望者が夢を持っている。 ・選抜した受検者が本校に適合している。	学校説明会の開催。 外部説明会への参加。 中学校・塾等の訪問。 Web を活用した広報活動。 生徒の学習成果の広報。
（３）学習指導			
①教務運営・教育課程の実施 時間割や考査・評価の工夫、選択科目の工夫や習熟度別授業を実施し、基礎学力を定着させる。教育課程の特色化を図り、カリキュラムマネジメントを行う。	・教育課程を適正にマネジメントする。 ・学業成績・出欠席等における生徒の現状が共有できる。	教科主任会・教育課程委員会の開催。 統合型校務支援システム・定期考査採点・分析システムの活用。 定期考査の適正な実施。 入学者選抜業務の適正実施。	学校説明会参加者2,500名 ホームページ更新300回 入選1次応募倍率1.3倍 事故 0

②学習指導、学習評価 スクールポリシーや「総合的な子供の基礎体力向上方策」を踏まえ、学習指導計画に基づき、教育効果の高い授業を実施し、資格・検定取得を奨励するなどして、学力・体力の向上を図る。	○各教科の学力の向上を図る。 ・体力テストで東京都平均を超える。	教育効果の高い授業を工夫する。 「分かる授業からできる授業へ、できる授業から考える授業へ」を標語とした授業改善と授業評価の実施。 授業以外の学習時間確保の工夫。 外部機関と連携したエンジョイスポーツプロジェクトの実施。	分かりやすい授業 90%
(4) 進路指導 キャリア教育基本計画に基づき、キャリア教育を実効化する。課題解決型探究教育を推進し、高校で力を入れた学びを成果物として多様な入試制度に対応する。それぞれの入試制度を活用し、国公立大学や中堅私立大学に合格者を出す。	・組織的・体系的な実践によりキャリア教育を実効化する。 ○全ての生徒が希望進路を実現する。	課題解決型探究教育の本格実施。 地域と連携した外部人材の活用。 進路調査の実施と活用。 放課後・土曜日の補習・講習、長期休業中の講習の実施。 模試及び模試結果分析会の実施。 各種検定取得率、オーバートリプルサード達成率増加の工夫。 進路行事の実施。 進路相談・保護者面談・三者面談の実施。	進路決定率 90% OTT 達成 50 名
(5) 生活指導 「都立高校生活指導指針」に基づき、生徒の成長を促す教育活動の一環として生活指導を行う。ルールを遵守する姿勢を育成し、安心・安全な校内環境を整え、学校生活の満足度を高める。体罰ゼロ・暴力ゼロ・自殺ゼロ、いじめの早期対応を目標に、外部機関と連携を取りながら、すべての教育活動を使って計画的・横断的に予防・対応を図る。	・学校生活が安心・安全と言える。 ○生徒の学校生活の満足度が高い。 ・体罰ゼロ・暴力ゼロ・自殺ゼロ、いじめの早期対応。	生活指導部を中心とした全教員による生活指導。 挨拶と言葉遣いの指導、基本的生活習慣の徹底。 身だしなみの指導、遅刻指導、チャイム着席の実施。 トラブルの未然防止。 暴力・自殺の未然防止、いじめの未然防止・早期発見・早期対応。 表彰機会の確保。	学校満足度 80% ★ ルール遵守 90% ★
(6) 特別活動・部活動 主体性を持ち社会福祉に貢献できる生徒を育成するために、特別活動・課外活動を充実させ、地域連携教育を実施する。ホームルーム活動を活性化し、生徒会活動や行事が高い教育効果をもたらす活動となるよう工夫をする。部活動は部活動指導員を活用し、教員が負担を感じない工夫をする。	○生徒の帰属意識が高い。 ・ホームルームが生徒の帰属集団となる。 ・生徒会・委員会活動が活性化する。 ・生徒の防災意識が高い。 ・ボランティアで貢献する生徒が増える。 ・国際交流に関心のある生徒が増える。 ・外部交流や活躍をする部活動が増加する。 ・部活動加入率が向上する。	保護者会の実施、担任と保護者との連携・面談。 交通安全指導・避難訓練・防災教育の実施。 オープンマインドタイムの実施。 一部一善運動の実施。 JET の活用や海外学校間交流をはじめとする国際交流の推進。 部長会の活用。	行事満足度 90% 地域貢献 80%★ 部活動加入率 80%
(7) 健康づくり 外部機関と連携を図りながら計画的に保健指導、カウンセリング、特別支援教育を実施する。	・生徒の健康に対する自己管理能力が高い。 ・内容に応じた相談活動が充実する。 ・ユニバーサル教育としての特別支援教育が推進される。	定期健康診断の実施。 教育相談委員会の実施。 スクールカウンセラーの活用。 外部機関と連携した健康の保持増進に関するエンジョイスポーツプロジェクト講座の実施。 医療・福祉・警察等隣接領域や外部との連携。	相談対応 80% ★ 教育相談委員会実施回数 10 回